

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社 (コード 6628)
 代表者名 代表取締役社長 大舘宗徳
 問合せ先 代表取締役副社長 中野宏
 TEL : 072-831-8001

PRESS RELEASE



最先端「DTS Neo:X™」サラウンドを搭載 ピュアオーディオ設計も強化したフラッグシップAVセンター

AVセンター TX-NA1009/TX-NA5009

3D映像やハイレゾ音源などの登場で、映像や音楽の再生コンテンツのクオリティは大きく進化しています。そして、映像や音楽の再現力の鍵を握るAVセンターには、これら先進コンテンツの魅力を最大限に引き出すパフォーマンス力が求められます。このたび発売するAVセンターTX-NA1009/TX-NA5009は、最先端のリスニングモード「DTS Neo:X™」に対応。4K(3840×2160ピクセル)信号へのビデオアップコンバージョン機能を装備し、高精細な映像を楽しめる先進の映像回路を搭載しています。また、アンプの地力を飛躍的に向上させる「3段インバーテッドダーリントン回路」を搭載するなど、ピュアオーディオの開発で培ってきた技術やノウハウを結集。よりパワフルに効率よくスピーカーをドライブするために、フラッグシップモデルのTX-NA5009には、オーディオ回路専用トイダルタイプの電源トランスを採用しています。さらに、振動を徹底して排除するため、より剛性を高めた筐体構造を施すなど、フラッグシップモデルにふさわしい仕様を追求しました。また、PCやサーバーを組み合わせた、注目のネットワークオーディオ機能も充実。話題のIPサイマルラジオサービス「radiko.jp」や、自分の好みに合った曲をセレクトして再生してくれるストリーミングサービス「AUPEO！」にも対応しています。専用アプリの「Onkyo Remote」を活用すれば、iPod touch/iPhoneやAndroidスマートフォンがTX-NA1009/TX-NA5009のリモコンになるなど、スムーズな操作性も魅力。音楽・映像・ネットワークすべてにおいてハイクオリティなAVセンターとしてリファインします。

ONKYO®

プレスお問合せ先 オンキヨーマーケティングジャパン株式会社 営業企画課 湊口瞳 TEL.03-3548-2613
 写真画像はこちらから www.jp.onkyo.com/news/newproducts/ の「オーディオ」より当製品をクリックください
 掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーオーディオコールセンター TEL.050-3161-9555



TX-NA1009(B)

9.1ch対応AVセンター

¥241,500(税込) 9月16日発売

- 特許技術回路「VLSG」や3段インバーテッドダーリントン回路、グラウンド電位安定化技術など音質技術を惜しみなく投入
- プリアンプ部とパワーアンプ部を完全にブロック化した「ケース内コンポーネント」構造
- ホームシアターの世界基準「THX Select2 Plus」に準拠
- 5.1chなどの音声信号からフロントハイ/ワイドを含むサラウンド信号の生成も可能な「DTS Neo:X™」に対応
- ネットワーク内のHDDやPC内の音楽再生に加え、インターネットを活用して、快適なラジオ聴取が可能な「radiko.jp」に対応※1
- 自分の好みにあった曲を流してくれる音楽ストリーミングサービス「AUPEO!」に対応※2
- 4K対応「ビデオアップコンバージョン」機能搭載。また映像処理回路に「HQV VIDA VHD1900」搭載
- iPod touch/iPhone、AndroidスマートフォンがAVセンターのリモコンに。専用アプリ「Onkyo Remote」に対応※3
- 「オーディオリターンチャンネル」/「3D映像」対応HDMI端子搭載(入力8/出力2)
- 主要メーカーのハイビジョンTVとシステム連動、HDMI端子を活用した「RI HD」機能 ※4
- 別売りの「UWF-1」を使用することで無線LAN環境に接続も可能

パワーアンプch数	9ch
定格出力	各チャンネル145W(6Ω、全高調波歪率0.08%以下、1ch駆動時、JEITA)
実用最大出力	各チャンネル230W(6Ω、1kHz、1ch駆動時、JEITA)
周波数特性	5Hz～100kHz: +1dB/-3dB(Direct mode)
HDMI端子	入力: 8 出力: 2(同時出力可能)、オーディオリターンチャンネル/3D映像対応
映像入出力端子	入力: D4×2、コンポーネント×2、S×4、コンポジット×5、D-sub15×1 出力: D4×1、コンポーネント×1、S×2、コンポジット×2
音声入出力端子	入力: デジタル×6、アナログ×7、PHONO×1、7.1ch×1、USB×2 出力: アナログ×1、9ch×1、サブウーファー×2、ヘッドフォン×1
最大外形寸法	435(幅)×198.5(高さ)×435.5(奥行)mm
質量	18.5kg
付属品	マクロ対応リモコン

* 製品詳細は、(<http://www.jp.onkyo.com/audiovisual/index.htm>)の「AVセンター」ページをご覧ください

※1 対応(聴取可能)エリア、対応放送局について詳しくはradiko.jpのWebサイト(<http://radiko.jp>)をご覧ください。

※2 「AUPEO!」の受信についてはファームウェアのアップデートが必要となります。

※3 iPod touch/iPhoneおよびAndroid OS2.1以上のスマートフォンでご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。

※4 連動動作する他社対応機種 パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」およびDVDレコーダー「ディーガ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」、シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)、日立製Woooリンク対応テレビ「Wooo」、ソニー製ブラビアリンク対応テレビ「BRAVIA」および同機能対応ブルーレイディスクレコーダー/プレーヤーとの接続による連動動作

※ソニー製品については当社独自調査で動作確認。

ONKYO®



TX-NA5009(B)

9.1ch対応AVセンター

¥367,500(税込) 9月25日発売

- 特許技術回路「VLSG」や3段インバーテッドダーリントン回路、グラウンド電位安定化技術など音質技術を惜しみなく投入
- プリアンプ部とパワーアンプ部を完全にブロック化した「ケース内コンポーネント」構造
- ホームシアターの世界基準「THX Ultra2 Plus」に準拠
- 電源部には磁束漏洩が少なく筐体内の他回路に影響を及ぼしにくいオーディオ専用大容量トロイダルトランスを採用
- Burr-Brown製32bit/192kHz 2ch D/Aコンバーターを6基搭載
- 制振性に優れたアルミ押し出し材による側板を採用するなど、より剛性を高めた筐体構造を実現
- 5.1chなどの音声信号からフロントハイ/ワイドを含むサラウンド信号の生成も可能な「DTS Neo:X™」に対応
- ネットワーク内のHDDやPC内の音楽再生に加え、インターネットを活用して、快適なラジオ聴取が可能な「radiko.jp」に対応※1
- 自分の好みにあった曲を流してくれる音楽ストリーミングサービス「AUPEO!」に対応
- 4K対応「ビデオアップコンバージョン」機能搭載。また映像処理回路に「HQV Vida VHD1900」搭載
- iPod touch/iPhone、AndroidスマートフォンがAVセンターのリモコンに。専用アプリ「Onkyo Remote」に対応※2
- 主要メーカーのハイビジョンTVとシステム連動、HDMI端子を活用した「RI HD」機能 ※3

パワーアンプch数	9ch
定格出力	各チャンネル200W(6Ω、全高調波歪率0.08%以下、1ch駆動時、JEITA)
実用最大出力	各チャンネル280W(6Ω、1kHz、1ch駆動時、JEITA)
周波数特性	5Hz ~ 100kHz: +1dB/-3dB(Direct mode)
HDMI端子	入力: 8 出力: 2(同時出力可能)、オーディオリターンチャンネル/3D映像対応
映像入出力端子	入力: D4×3、コンポーネント×3、S×4、コンポジット×5、D-sub15×1 出力: D4×1、コンポーネント×1、S×2、コンポジット×2
音声入出力端子	入力: デジタル×7、アナログ×8、PHONO×1、7.1ch×1、USB×2 出力: アナログ×1、9ch×1、サブウーファー×2、ZONE2×1、ZONE3×1、ヘッドフォン×1
最大外形寸法	435(幅)×198.5(高さ)×463.5(奥行)mm
質量	25.0kg
付属品	マクロ対応双方向リモコン

* 製品詳細は、(<http://www.jp.onkyo.com/audiovisual/index.htm>)の「AVセンター」ページをご覧ください

※1 対応(聴取可能)エリア、対応放送局について詳しくはradiko.jpのWebサイト(<http://radiko.jp>)をご覧ください。

※2 iPod touch/iPhoneおよびAndroid OS2.1以上のスマートフォンでご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。

※3 連動動作する他社対応機種 パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」およびDVDレコーダー「ディーガ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」、シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)、日立製Woooリンク対応テレビ「Wooo」、ソニー製ブラビアリンク対応テレビ「BRAVIA」および同機能対応ブルーレイディスクレコーダー/プレーヤーとの接続による連動動作

※ソニー製品については当社独自調査で動作確認。

ONKYO®